

連載第 59 回 横浜市会議員 たけのうち猛 市民とともに

コロナに負けない!!

◎横浜市会臨時会で補正予算を可決！
過去最高となる約 5800 億円の補正予算を計上。感染拡大防止と医療提供体制の整備、市民生活、企業・事業活動への支援をめぐり、集中的な審議を行いました。

◎質疑で施策を深める！
本会議ではコロナ対策等の補正予算案をめぐり、公明党議員団として市長・教育長に対し、以下の質疑を行いました。

○自宅療養する軽傷者等の容態急変を察知するため、国で公明党が提案した「パルスオキシメーター」※の積極的な活用を

（答弁）神奈川県で、アプリや電話により自宅療養者の朝夕の検温や呼吸器症状を確認しています。加えて横浜市独自にパルスオキシメーターの貸与・活用を開始しました。



横浜市会議員
たけのうち猛
＜ご相談・ご連絡先＞
公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL：080-9804-9782
FAX：045-345-4345
✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

《決定した主な施策》

- ◎PCR 検査体制を強化
市内 10 か所程度でドライブスルー PCR 検査を実施、検査費を無料化
- ◎感染拡大防止対策を強化
病院、福祉施設、学校、保育所等への感染症対策物資の確保と配布。
また公明党の要望で、旧市民病院を軽症者等の宿泊療養施設として活用。
- ◎教育の ICT 環境整備を加速
オンライン授業のため市立校の全生徒へ「1人1台」のタブレット型 PC を配布
- ◎商店街を強力に支援
様々な活動に使える 1 店舗あたり 10 万円の支援金を交付
- ◎子育て世帯を支援
児童手当受給世帯へ、児童一人あたり 1 万円の臨時特別給付金を給付
- ◎中小企業を支援
横浜市独自の無利子・無担保の融資メニューなどを創設。
また、危機関連保証の認定を迅速に行うための体制を強化

※パルスオキシメーター…
血中の酸素濃度を計測する機器

○子育て家庭への支援をきめ細かに
（答弁）就学援助対象について、前年の総所得ではなく新型コロナにより家計が急変した時点での収入状況で判

断するなど柔軟に対応できるよう検討します。子育て世帯臨時特別給付金について特別な手続きは不要とします。また、他都市に里帰り出産し定期予防接種を行った乳児の接種費用について払戻し期間の延長を検討します。

○活動の場と収入を奪われたアーティスト、クリエイターへの支援を積極的に
（答弁）アーティストやクリエイターにとどまらず、舞台製作・運営にかかわる幅広い方々を支援します。また市内のライブハウスが、無観客公演を映像配信する際の費用などを支援します。